

**平成29年8月期(53期) 第1四半期決算補足資料**

---

**平成29年1月11日**

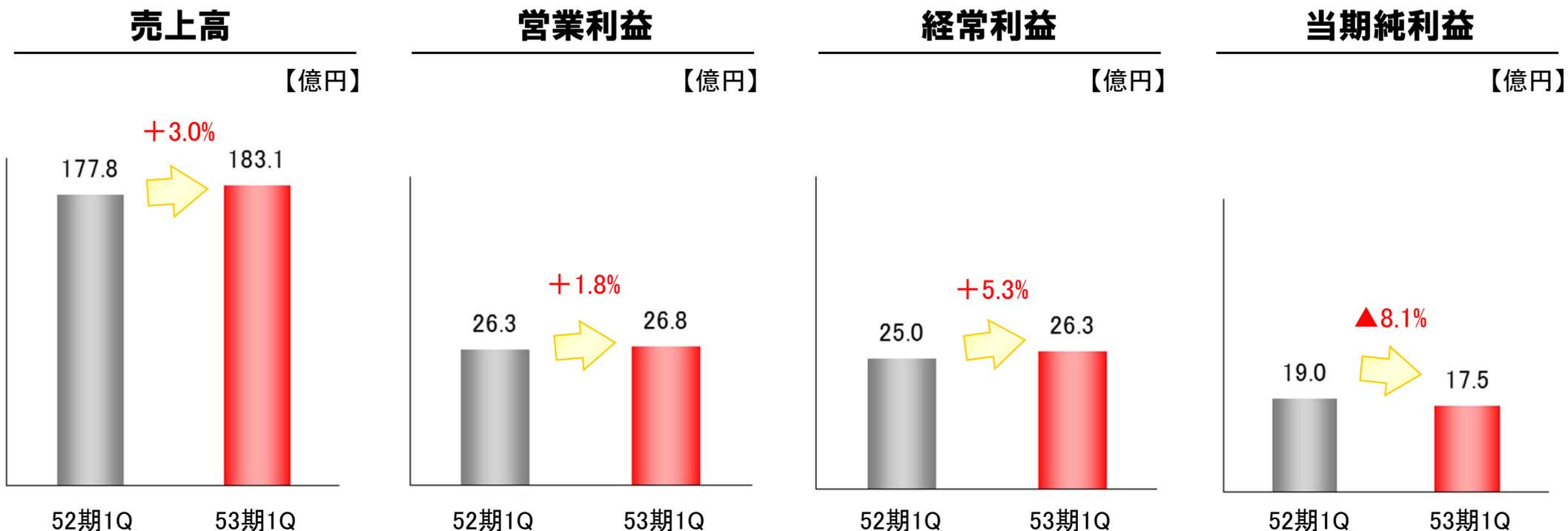


# 目次

<b>1. 業績関連</b>	...	<b>P2</b>
<b>2. 財務／経営指標関連</b>	...	<b>P7</b>
<b>3. 事業関連</b>	...	<b>P12</b>
<b>4. 第1四半期TOPICS</b>	...	<b>P15</b>
<b>5. 免責事項</b>	...	<b>P18</b>

# || 業績関連 || 53期第1四半期経営成績(前期対比)

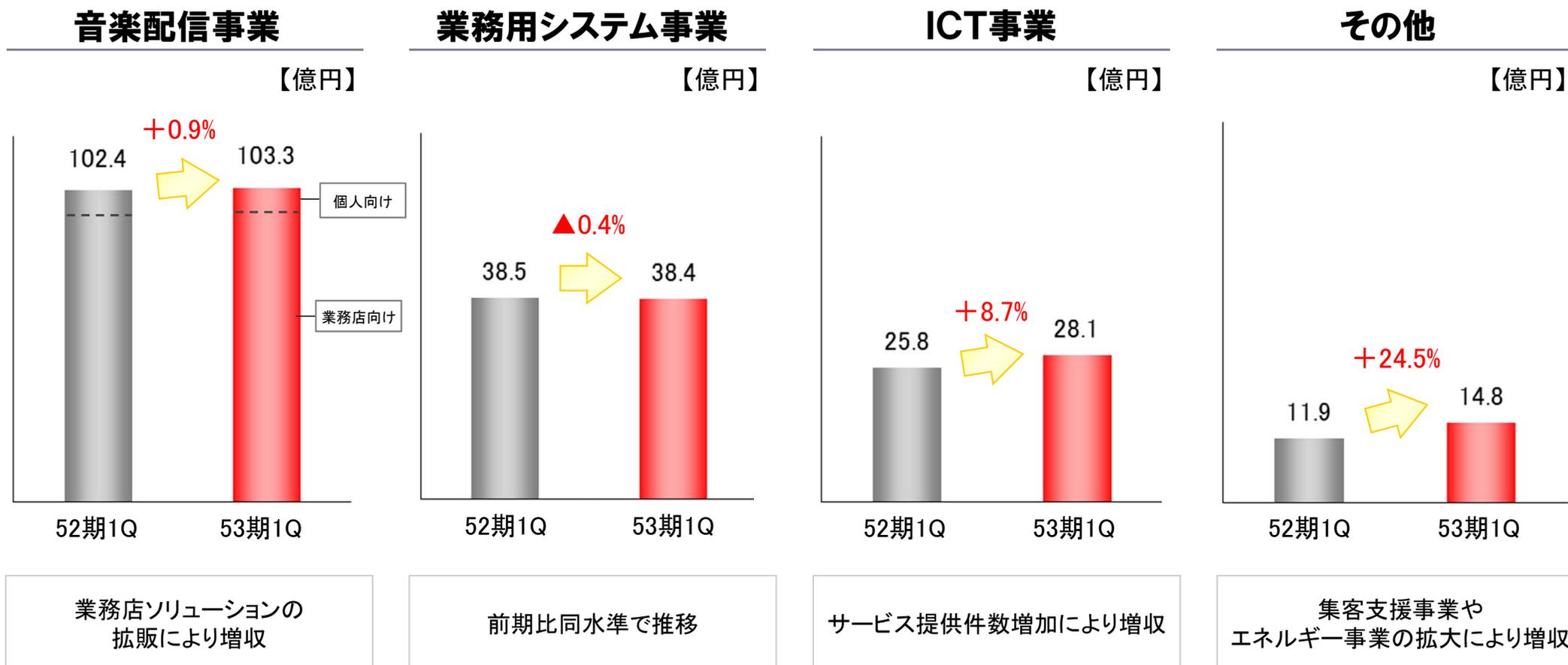
- 売上高は各事業が堅調に推移し増収。
- 営業利益は各事業で人員拡充・将来施策を含む費用投下をするも、のれんの償却終了により横ばいで推移。経常利益は借入金圧縮に伴う金利負担が減少し増益。当期純利益は法人税等が増加したため減益。



※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

# || 業績関連 || 53期第1四半期経営成績(前期対比)

## セグメント別 売上高



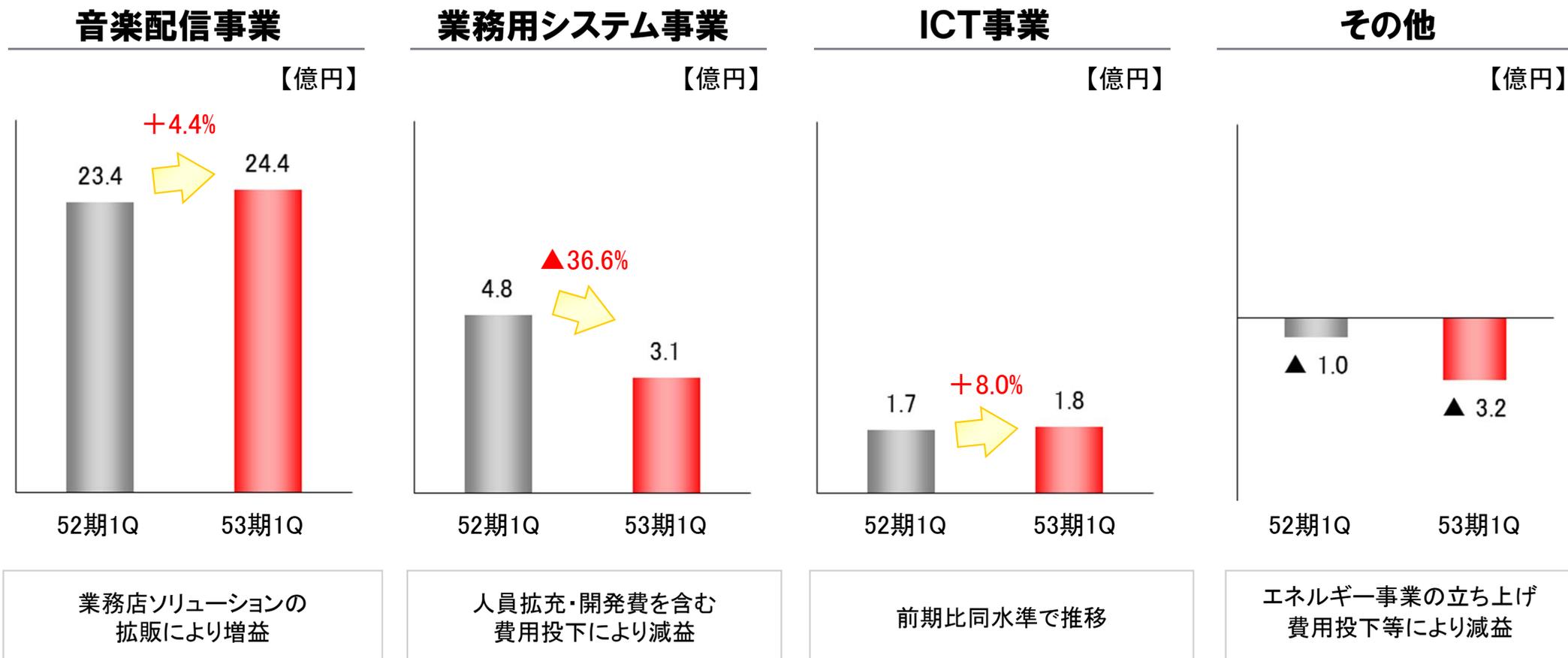
(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

※ 52期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲0.9億円の調整を行っております

※ 53期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.6億円の調整を行っております

# || 業績関連 || 53期第1四半期経営成績(前期対比)

## セグメント別 営業利益

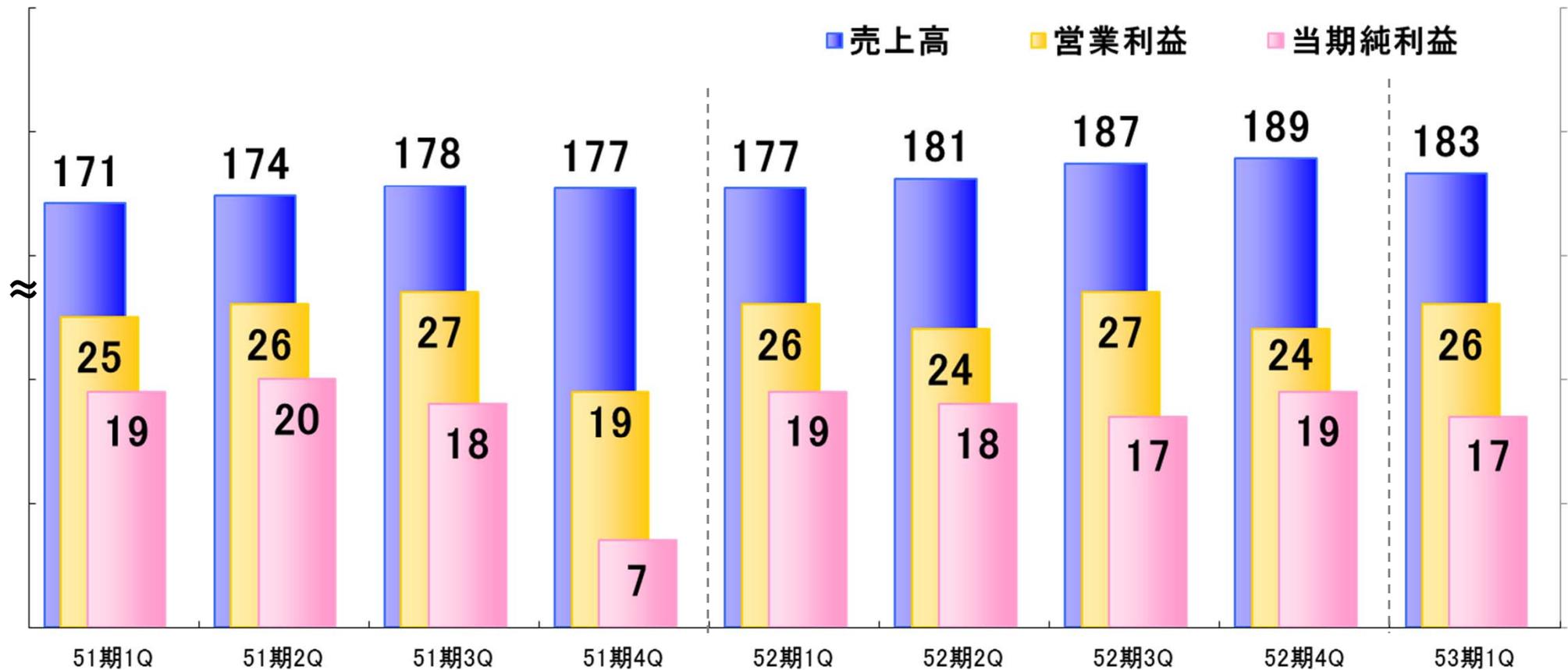


※ 52期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲2.6億円の調整を行っております

※ 53期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と+0.6億円の調整を行っております

# || 業績関連 || 連結経営成績推移

【億円】



**当四半期売上高は過去2期の第1四半期と比較して増収**

**営業利益は前年同期比横ばい、当期純利益は法人税等が前年同期比で増加したため減益**

※ 各数値は端数切捨て

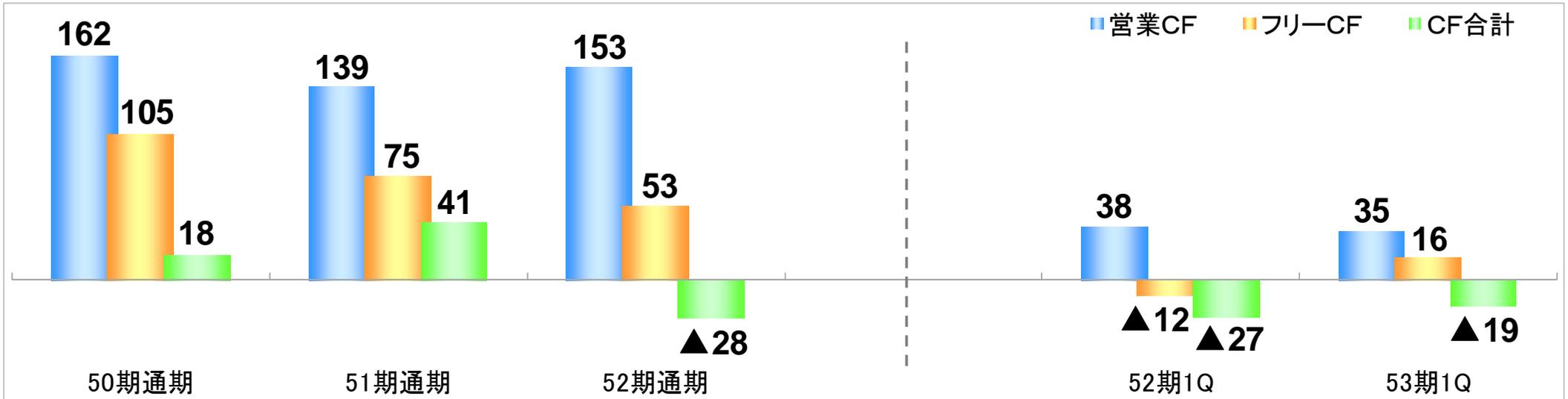
# || 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

	【億円】	通期予想 (A)	1Q実績 (B)	進捗率 (B÷A)
売上高		787.0	183.1	23.3%
営業利益		108.0	26.8	24.9%
経常利益		105.0	26.3	25.1%
当期純利益		61.0	17.5	28.7%

売上高/営業利益/経常利益は概ね予想通りに進捗  
当期純利益は予想を上回って推移

# || 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



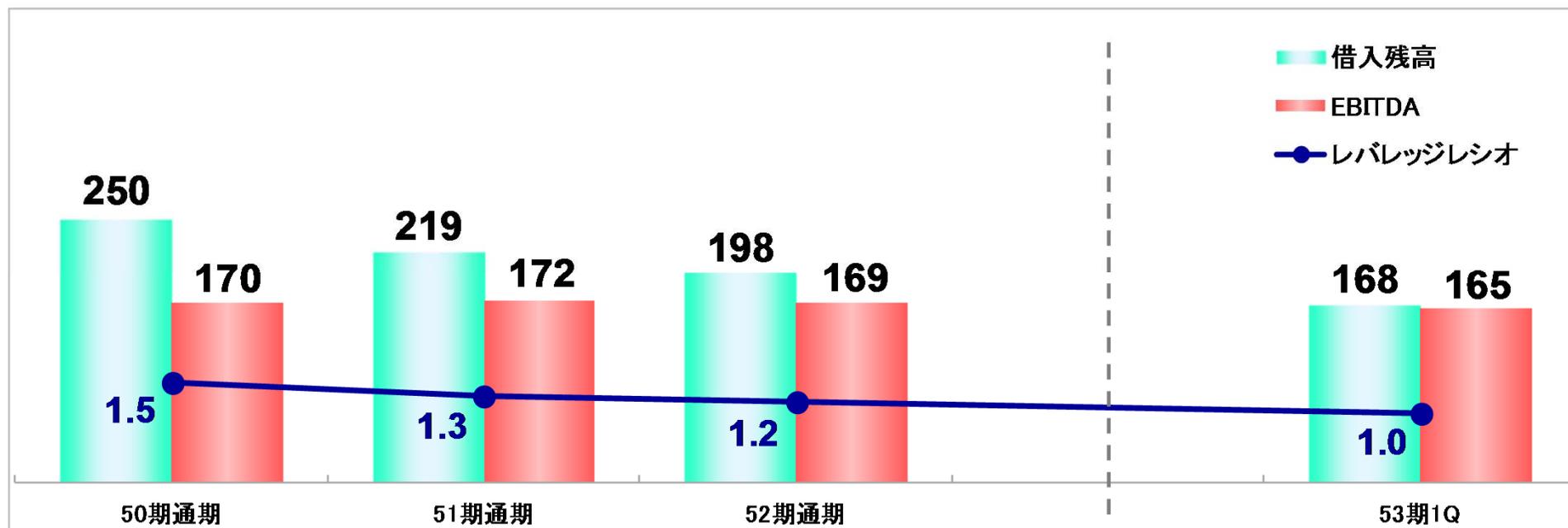
※フリーCF=営業CF+投資CF、CF合計=フリーCF+財務CF

<営業CF>	162	139	153	38	35
<投資CF>	▲56	▲63	▲99	▲51	▲18
<財務CF>	▲86	▲33	▲82	▲14	▲36

営業CFが前年同期比で微減も、投資CFは大型の投融資案件がなく支出減少となった結果、フリーCFは増加。財務CFは有利子負債圧縮(約30億円)及び配当(約6億円)実施により支出増加も、CF合計は8億円の支出抑制

# || 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

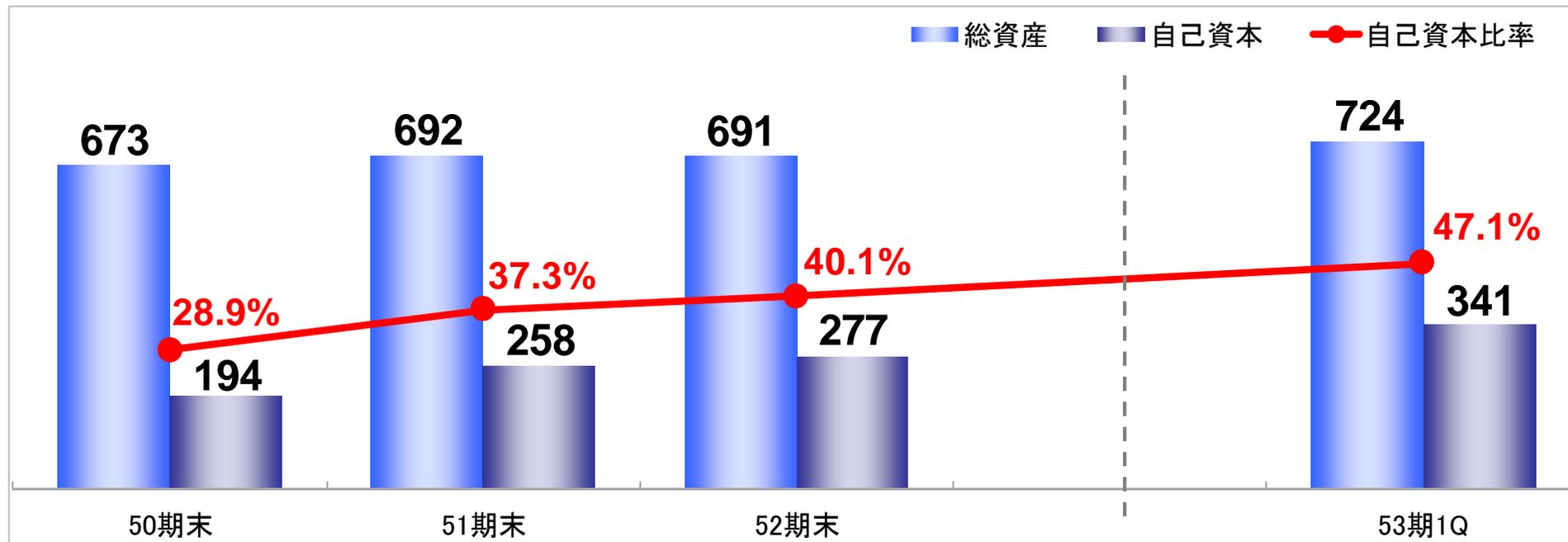
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

EBITDAはのれん償却費の減少等により微減も、  
継続した借入金圧縮によりレバレッジレシオは1.0倍に

# || 財務／経営指標関連 || 自己資本比率

【億円、％】

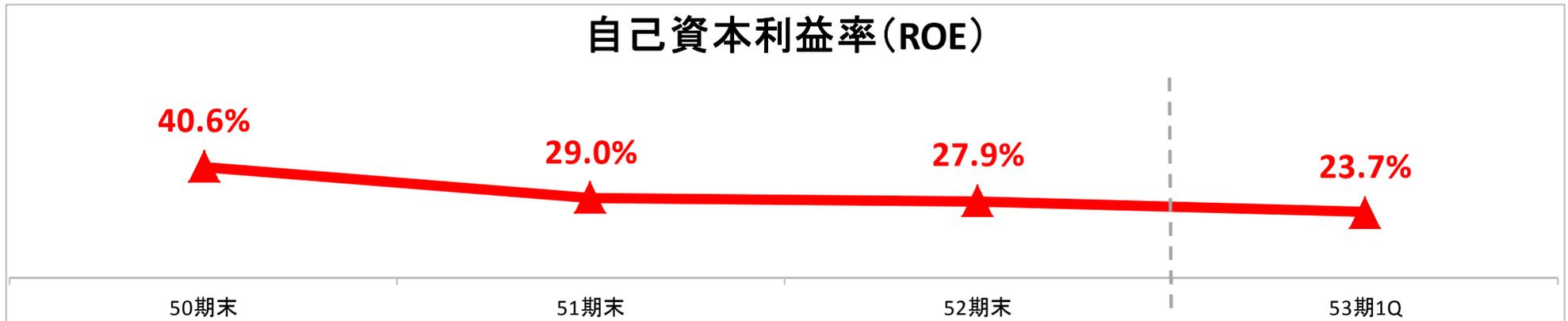
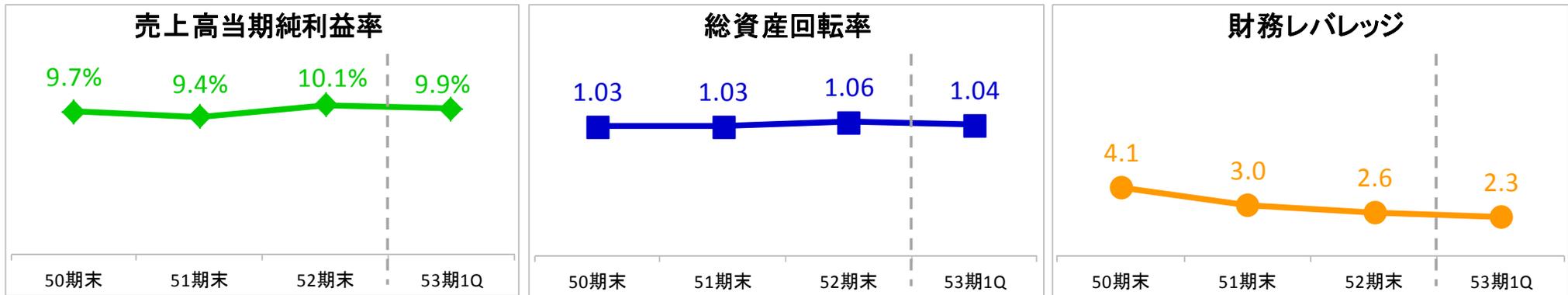


※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

税効果会計に係る会計方針の変更の影響等により総資産・自己資本がともに増加、  
加え自己資本は着実な当期純利益の積み重ねもあり、自己資本比率は47.1%に

○上述の会計方針の変更影響により、53期首において繰延税金資産及び純資産が約52億円増加しております。  
詳細は「平成29年8月期 第1四半期決算短信」5頁をご参照下さい。

# || 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



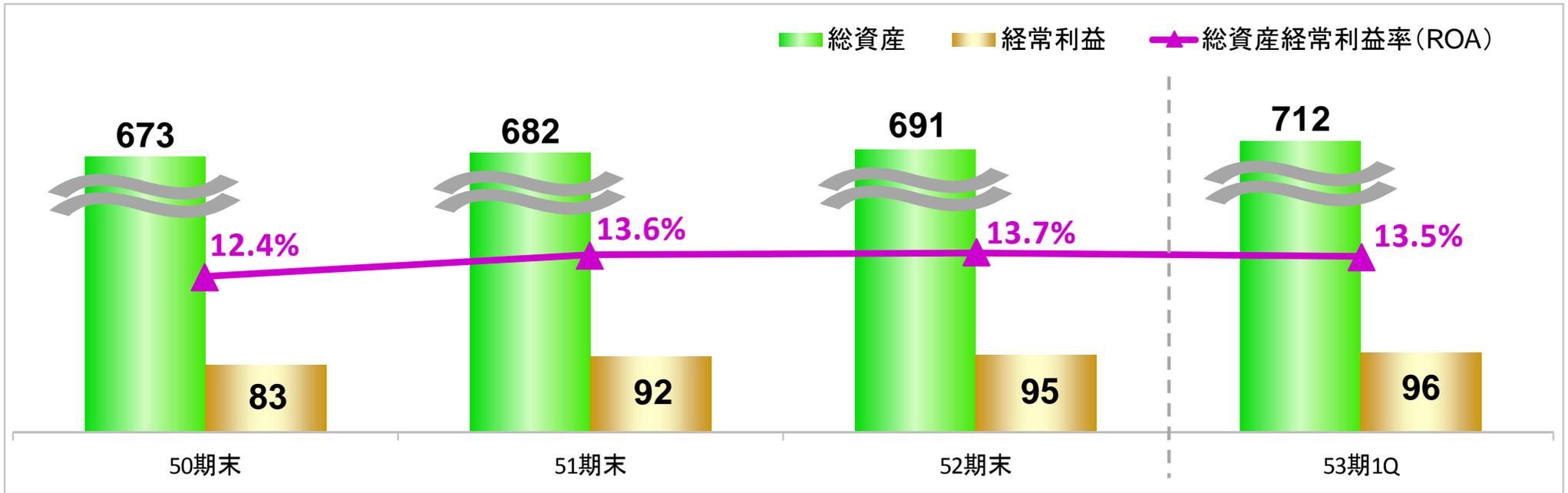
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※53期1Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は52期1Qと53期1Qの平均値

売上高当期純利益率および総資産回転率は安定的に推移、  
継続した借入金圧縮に伴い財務レバレッジは減少傾向のため、ROEは23.7%に

# || 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益 / 総資産 × 100

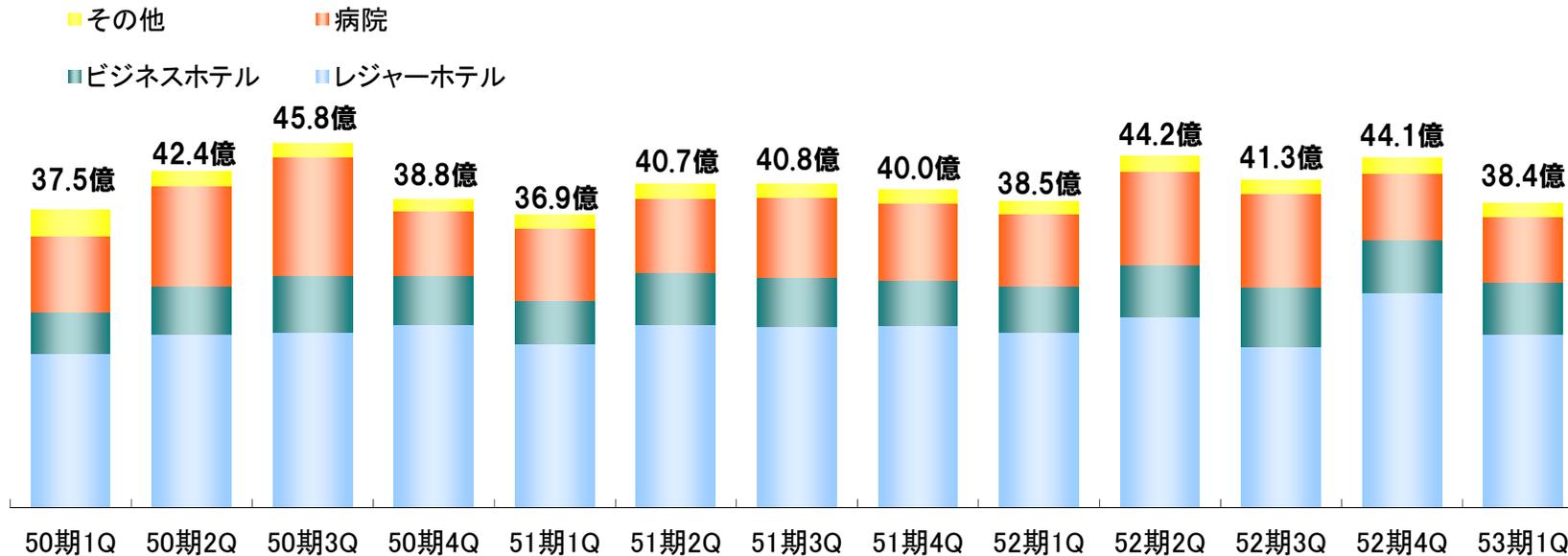
※53期1Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※53期1Qの期中平均総資産は52期1Qと53期1Qの平均値

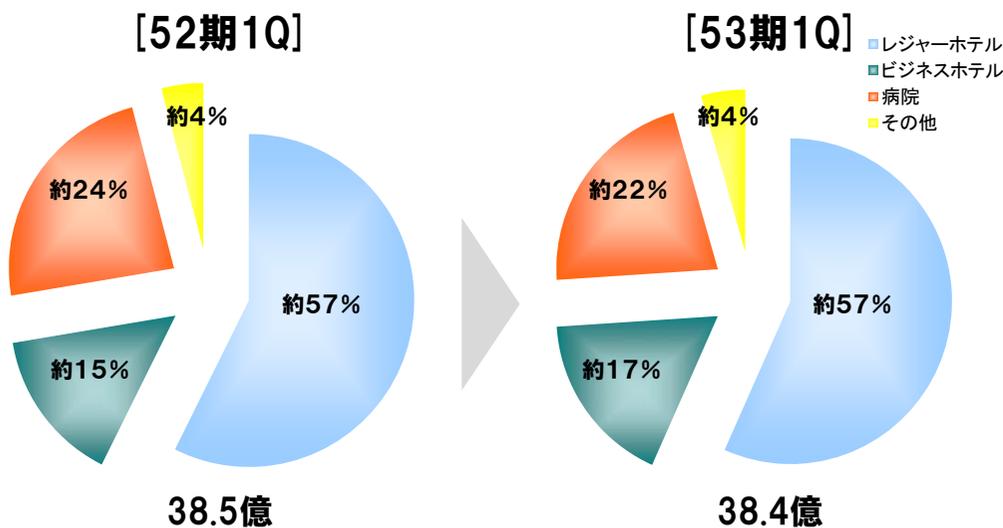
期中平均総資産は税効果会計に係る会計方針の変更の影響等により前期末比で増加、  
経常利益も微増し、ROAは安定的に推移

# || 事業関連(業務用システム事業) || 売上ポートフォリオ

## ■ 四半期推移



## ■ 前年同期比

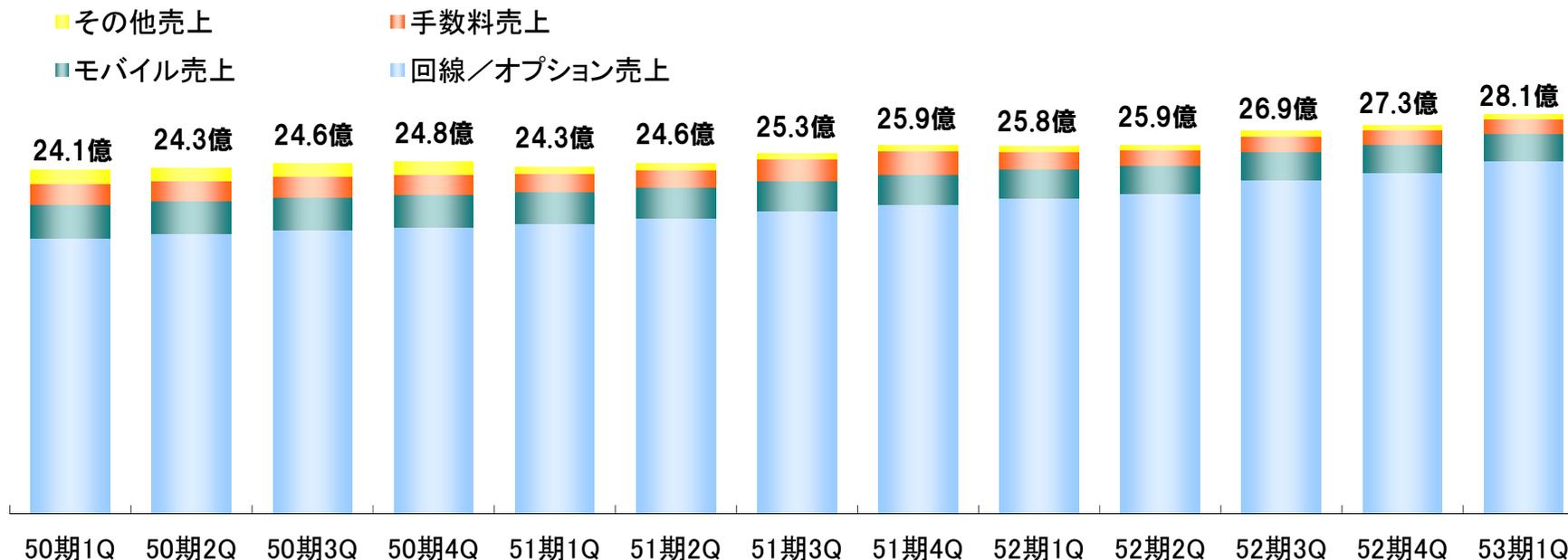


## ○ 売上は前四半期比でほぼ横ばい

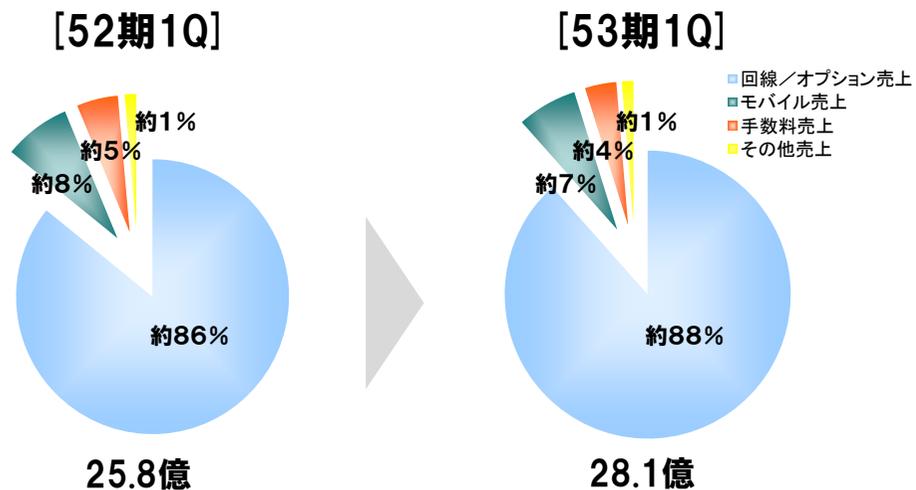
- 例年、第1四半期の売上は前四半期比で減少。
- ビジネスホテル向けの管理システム導入は堅調に推移。  
カプセルホテル/簡易宿泊所等へのローコストオペレーションシステムやクラウド型IoT・IoTソリューションの提供を進めていく。

# || 事業関連(ICT事業) || 売上ポートフォリオ

## ■ 四半期推移



## ■ 前年同期比

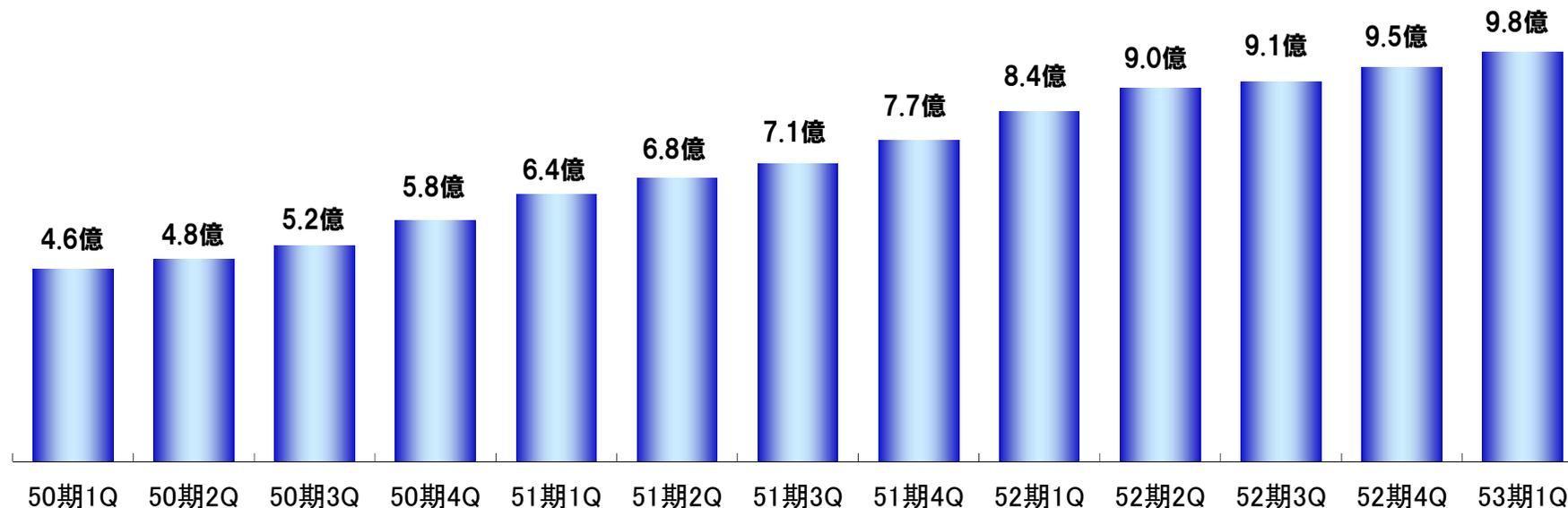


### ○ 売上は前四半期比/前年同期比で増収

- 主力の回線/オプションサービスが増収基調を維持し、事業全体の売上拡大を牽引。
- 回線/オプションサービスの中でも、特に中堅・中小企業向けのクラウド型グループウェアやデータセンター関連サービスの伸長が顕著。

# || 事業関連(その他事業) || 集客支援事業 売上推移

## ■四半期推移



## ○売上は四半期ベースで過去最高を更新。

- 自社運営グルメサイトのヒトサラや付随サービスの販売が堅調に推移。  
年末年始の忘新年会向け特集枠の販売が拡大。
- 全国500店舗を超える厳選した高級店・人気店にフォーカスした  
即時予約サービス「Premium Reservation (プレミアム・リザベーション)」リリース
- ヒトサラ『Best Chef & Restaurant 2016』発表  
食のプロである料理人とヒトサラ編集部が厳選した100人100店舗を表彰。



THE PREMIUM RESERVATION



# || 第1四半期TOPICS || 新サービス関連

## ▶▶ 店舗開業・経営のサポートサイト『canaeru』を12月オープン

『canaeru』は「お店のこと、はじめる前も、はじめた後も。」をコンセプトに、“夢を叶える”を語源とする。

“お店のトータルサポートサイト”として、開業準備からその後の運営にいたるまで、店舗経営に携わる方々の課題解決に役立つ記事や各種情報の検索サービスなどを掲載。



## ▶▶ ホテル向けクラウド型IoT・IoTソリューション“E-stay system”の提供

訪日外国人の増加や2020年東京オリンピックなど宿泊施設の需要が高まり、簡易宿所や民泊に関する法整備も進んでいる。

テクノホスピタリティを提供するアルメックスが施設規模に合わせた最適な製品の組み合わせをローコストで素早く提供。

**E-stay** system  
Easy / Economy / Express



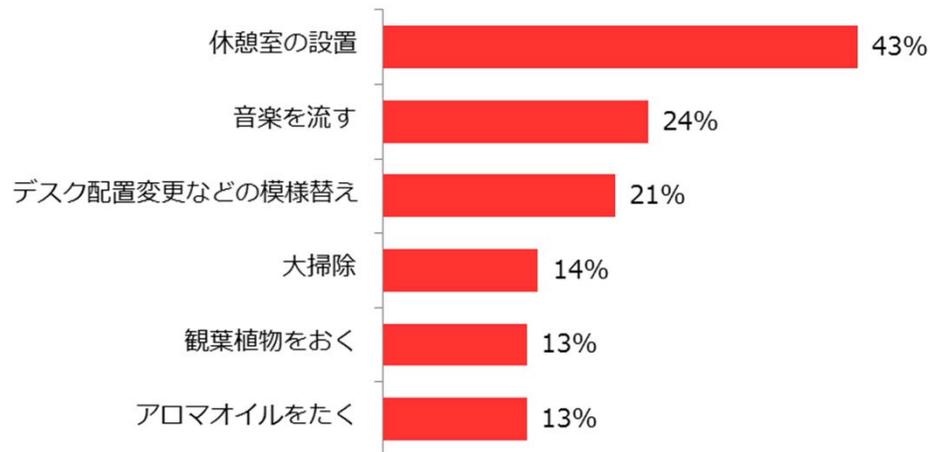
# || 第1四半期TOPICS || 「オフィス環境に関する調査」実施

## ▶▶ 「オフィス環境に関する調査」を実施

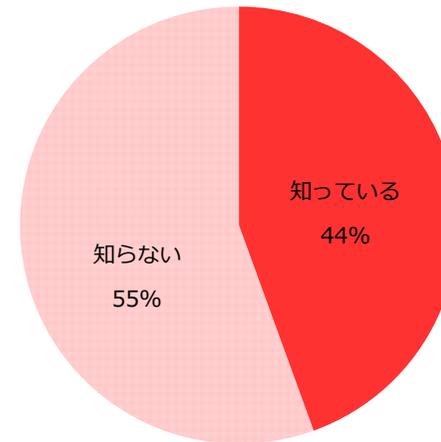
当社は職場環境の改善を目指した取り組みとして、オフィスに合った楽曲を選曲した放送サービス「Sound Design for OFFICE」、ストレスチェックに対応したメンタルヘルス対策支援ASPサービス「こころの保健室」を提供しており、定期的にオフィス環境に関する調査を実施。

今回の調査結果から、働く男女の約6割はオフィス環境に満足していないこと、全体の4割強がオフィス環境改善策として「音楽を流す」という取り組みがあることを認知していること、などが明らかに。

### ■期待するオフィス環境改善策では「休憩室の設置」が上位に



### ■「音楽を流す」ことがオフィス環境改善策の一環だと認知している人は、44%にのぼる



調査方法: インターネット調査  
調査期間: 2016年11月22日(火)～2016年11月23日(水)  
有効サンプル: 無作為に抽出した20代～50代の働く男女500人

その他の調査結果

[http://www.usen.com/news/release/2016/20161130\\_153.html](http://www.usen.com/news/release/2016/20161130_153.html)

# || 第1四半期TOPICS || IR関連

## ▶▶ 第52期定時株主総会の開催

2016年11月29日に第52期定時株主総会をベルサール渋谷ガーデンにて開催し決議事項である第1号から第4号議案について全て承認可決。

なお、承認可決された第1号議案に基づき、9年ぶりに1株あたり3円の配当を実施。

### ■決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第3号議案 取締役6名選任の件

第2号議案 定款の一部変更の件

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

## ▶▶ 業務執行体制の強化(新役員体制)

業務執行体制の強化のため2016年11月29日付で新たに執行役員3名を選任。

代表取締役社長	田村 公正	常勤監査役	小林 陽介
取締役会長	宇野 康秀	監査役(社外)	北村 行夫
取締役副社長執行役員CFO	馬淵 将平	監査役(社外)	小野 講
取締役常務執行役員	大田 安彦	常務執行役員	服部 浩久
取締役(社外)	森 浩志	執行役員(新任)	寺見 俊吾
取締役(社外)	伊串久美子	執行役員(新任)	青柳 陽一
		執行役員(新任)	成内 英介

## || 免責事項 ||

**本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。**

**本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。**

**本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。**